

事業番号	13 01 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）		■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検	
事業名	電気事業	部局	企業局	課・室	電気事業課
		実施期間	S33 ~	E-mail	kigyvo@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）					
8つの重点目標	⑧再生可能エネルギー100%地域をめざし自給率を上昇				
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進 3-1 信州と関わりを持つ「つながり人口」の拡大 4-5 地球環境への貢献 2-2 地域内経済循環の促進 4-1 県土の強靱化				

### 1 現状と課題

目指す姿	『脱炭素社会に向け、長野県の豊かな水資源を活かす水力発電により、「再生可能エネルギーの供給拡大」と「エネルギー自立分散型で災害に強い地域づくり」の具現化を図るとともに、電力の安定供給のため、未来に向けて積極的に投資』 ・新規発電所の建設と基幹発電所の改修等に取り組み再生可能エネルギーの供給を拡大 ・スマート保安の推進とともに地域連携水力発電マイクログリッド構築等による大規模災害時の電力供給 ・企業局電力のブランド化による電力の地消地産と大都市圏との連携の推進、これからの売電のあり方を検討 ・先端技術等を活用して中山間地域の課題解決を図る、企業局の発電所立地市町村の取組を支援 ・利益の水力発電供給拡大への投資と一般会計繰出による「地方創生」や「こどもの未来」への支援 など	
これまでの取組	・再生可能エネルギーの供給拡大 ・一般会計への繰出しによる地域貢献 ・再生可能エネルギーの実証モデル事業 など	
令和3年度の点検結果・現状分析	課題	今後の方向性
	・発電所の平均的な償却年数（建設から40年）を経過する発電所が9箇所あることから計画的な老朽化対策が必要。 ・再生可能エネルギーの供給拡大のための新規電源開発を積極的に進め、固定価格買取制度の適用による経営の安定化に取り組むことが必要。	・基幹発電所の大規模改修期間中の減収等を考慮し、既設発電所の改修を計画的に進める。 ・新規電源開発の可能性を調査し、経済性が確認された地点について建設を進め、生み出された利益を水力発電供給拡大へ投資するとともに地域貢献に取り組む。

### 2 令和4年度事業内容

予算のポイント・主な取組（予定）	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 未来への投資 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規電源開発 13か所（新規電源開発地点発掘プロジェクト候補地点含む、6か所の建設事業推進、7か所の調査を推進）</li> <li>・大規模改修等 5か所（美和、春近、与田切、小渋第3、豊丘）</li> </ul> </li> <li>✓ 先端技術の大胆な活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・先端技術を用いた次世代運転監視制御システム等の導入等によるスマート保安の加速</li> </ul> </li> <li>✓ リスクマネジメント <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期停電にも対応可能な発電所自立運転機能付き発電所建設の推進</li> <li>・地域連携水力発電マイクログリッド構想の実現に向けた研究</li> </ul> </li> <li>✓ 地域への貢献・地域との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「水の恵みを未来へつなぐ交付金」による企業局の発電所立地市町村への財政支援</li> <li>・県が行う地方創生の取り組みに対し、一般会計へ繰り出し支援</li> </ul> </li> </ul>
DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	【DX】企業局が整備するクラウドサーバーを核として、各部局が持つ様々な情報を一元化し、東大、JAXA等と連携して情報を高度解析し、正確な洪水予測を得ることなどを通じて防災やダム運用に活用する県DXの取組に参画

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、-:数値なし]								区分(単位:千円)				
No	成果指標	単位	R1年度	推移	R2年度	推移	R3年度(見込)	R4年度目標値	R2年度	R3年度	R4年度	
1	経常収支比率	%	146.3	↓	134.0	↓	113.3	109.6	前年度繰越	1,282,212	517,168	要求 予算案
2	損益	千円	1,350,026	↓	906,598	↓	432,606	326,350	当初予算	7,762,534	10,259,986	
3	大規模改修を行う発電所数(工事着工)	か所	2	→	2	↑	3	6	補正予算			
4									合計(A)	9,044,746	10,777,154	要求 予算案
5									うち一般財源			要求 予算案
									決算額(B)	7,521,472		
									職員数(人)	59.0	64.0	67.0
設定理由	成果指標	「長野県公営企業経営戦略」(平成28年2月策定、令和2年度改定)に基づく指標 1・2. 財政計画に基づき経常収支比率100%以上を維持し利益を確保 3. 契約済みで設計中の大規模改修工事の着実な進捗										
	目標値	「長野県公営企業経営戦略」(平成28年2月策定、令和2年度改定)に基づく目標設定 1. R4年度の経常収支比率を109.6%を目標とする。 2. R4年度の利益を326,350千円を目標とする。 3. R4年度に大規模改修実施中の3発電所(春近、与田切、小渋第3)の現場着工を目標とする。										